

【取材のお願い】超極早生温州ミカン 「みえの一番星」いよいよ出荷開始



▲規格を確認する部会員ら（9/2撮影）



▲味一号を収穫する様子（昨年撮影）



▲味一号を選果する（昨年撮影）



▲みえの一番星（味一号の厳選されたもの）

J A伊勢三重南紀地区では“超”極早生温州ミカン「味一号（品種＝みえ紀南1号）」の出荷が始まります。

露地栽培の温州みかんの中で最も早い9月上中旬に収穫が始まる「味一号」。その中でも外観や糖度10以上、酸度1.1%以下などの厳しい基準を満たしたものは三重ブランド「みえの一番星」として出荷されます。甘みと酸味のバランスが良く、緑色の果皮とオレンジ色に輝く果肉のコントラストが美しい温州ミカンです。

いよいよ9月11日（木）に初売りを迎え、9月下旬までに県内と中京圏を中心とした市場へ約900トンの出荷を見込んでいます。

お忙しいところ恐れ入りますが、ぜひ取材お願いします。

超極早生「味一号」取材スケジュール

「味一号」初選果・出荷作業

日時：9月10日（水） 8：30～10：00

★11日が初売りです（初めて店頭へ並ぶ日）

場所：J A伊勢 統一選果場

「味一号」収穫作業

日時：9月6日（土） 8：30 集合

集合場所：J A伊勢（下市木 2271）

営農柑橘グループ事務所前

園地場所：町内園地 ※職員がご案内します

※取材にお越しいただける場合は、事前にご一報お願いします。

※写真の提供も可能です。



【味一号（品種：みえ紀南1号）】

みえ紀南1号は三重県が県主力品種の「崎久保早生」を母に「サマーフレッシュ」を交配し育成した品種。露地栽培（ハウスでなく）で、9月中旬と全国トップクラスの早期出荷ができる。

重さは90グラム前後、内容先行型で果皮の色づきよりも先に果実が成熟するので外観は青くとも減酸が早く、甘さと程よい酸味のバランスで食味に優れる。

JA伊勢では「みえ紀南1号」を「味一号」の商標で出荷します。味一号の中でも外観や内部にも問題なく、糖度10以上・酸1.1以下の高品質なものを「みえの一番星」として出荷。JA統一選果場の光センサーで全量をチェックしています。

「みえの一番星」というブランド名は台風で大きな被害を受けた産地をけん引する希望の星になってほしいと願いを込めて、そして本州でトップクラスの早さで出荷されることにちなんで2011年に前三重県知事の鈴木英敬氏（現衆議院議員）によって名づけられました。

温州部会では高品質栽培を目指し、樹の根本やほ場一面に白いシートを張るマルチ栽培を推進しています。高齢の生産者の園地ではマルチ被覆を部会役員や若手生産者が請け負うなどして、被覆面積を拡大しています。糖度を上げ、味を凝縮させるには水分と地温のコントロールが重要であり、天候に合わせて開閉することで水分をコントロールし、マルチシートの反射で樹全体に日光を当てるなどの努力で安定した高品質なみかん作りに取り組んでいます。

今年産は、7月中旬から8月中旬の高温および雨不足による干ばつの影響でやや小玉傾向ではありますが、しっかりと糖や酸の内容をのせて消費者の皆さまへお届けすることができます。

9月下旬までに県内、愛知県を中心に、大阪などの市場へ約900トンの出荷を見込んでいます。

【お問い合わせ先】

伊勢農業協同組合

三重南紀経済センター（担当：宇城）

電話：05979-2-1388 携帯：080-3911-3076

Email: m-ushiro@ise.jamie.or.jp

営農柑橘グループ（営農指導・販売担当）

電話：05979-2-4545